

地震時対応LPガス保安ガイド

地震が発生
その時の対応は!



まず身の
安全を!

自分の身を守りましょう!

- まず、身の安全を確保してください。
(棚や棚の上に載せてあるものが落ちてきたりするので、揺れがおさまるのを待ちましょう。)

揺れが
おさまったら



閉める

火の始末をしましょう!

- ガスを使用しているときは、揺れがおさまってから器具栓を閉めてください。
- ガスを使用中に強い地震(震度5相当以上)が起きたときは、ガスマーターが自動的にガスをしゃ断します。(ガスを使用していないときは、しゃ断しません。)

地震時の対応

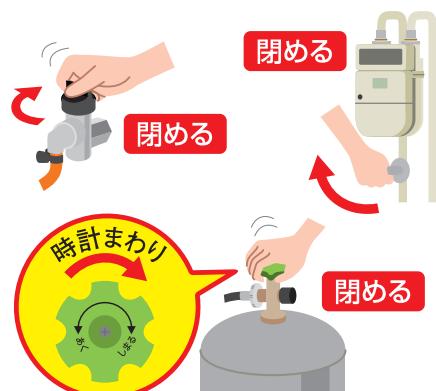
安全・安心にお使いいただきるために

**地震発生後の
注意事項**

状況を確認

**ガス漏れや
避難するとき**

- ガス漏れやガスの臭いがするときは、ガスの使用をやめて、器具栓、ガスの元栓、メーターガス栓および容器バルブをすべて閉めて、LPガス販売店か緊急時連絡先に連絡してください。
- 避難するときは、器具栓、ガスの元栓、メーターガス栓および容器バルブをすべて閉めてください。



※家屋等に被害が発生した地域では、ガス漏れや容器の点検を順次行いますので、点検の際にはご協力をお願いします。

LPガス安全委員会ホームページでも詳しい情報をご覧いただけます。<http://www.lpg.or.jp/> LPガス安全委員会 検索



LPガス緊急時の連絡先

連絡先:

電話:

緊急時の連絡先は24時間対応しています。

LPガス販売店名

LPガス安全委員会

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

ガスの使用を再開するときの安全確認

次の場合はガスを使用すると危険です。

□ ガス漏れやガスの臭いがないかを確認!

ガス漏れやガス臭いときはガスを使用せず、器具栓、ガスの元栓、メーターガス栓および容器バルブをすべて閉めて、LPガス販売店か緊急時連絡先に連絡してください。

□ ガス器具に損傷がないかを確認!

ガス器具が損傷していたときは、ガスを使用せず器具メーカーに修理を依頼してください。

ガスがしゃ断された場合は、ガスマーテーの表示を確認してください。

ガスマーテー(マイコンメーター)の機能と表示

●ガスを使用中に強い地震(震度5相当以上)が起きたとき、自動的にガスをしゃ断します。

ガスを使用していないときは、ガスをしゃ断しない機能になっています。

●地震で配管の折損やゴム管がはずれるなどして、ガスの流れや圧力などに異常があると、自動的にガスをしゃ断し原因が表示されます。



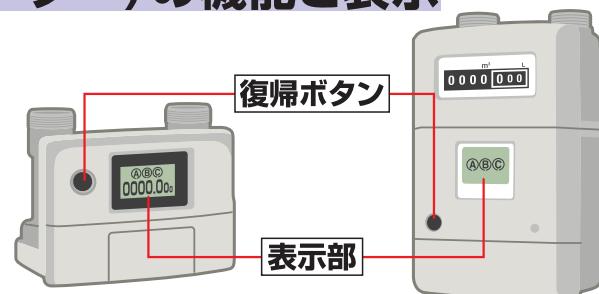
ガス使用中、震度5相当以上の
地震が発生
した場合。



ガス器具の
消し忘れなど、
長時間ガスを使
用され続けた場合。



ゴム管の外れ
などにより、
極めて多くの
ガスが流れた場合。



※ガス警報器とガスマーテーが連動している場合、警報が鳴ったときも地震しゃ断と同じ表示になります。

余震や停電に注意して復帰を行ってください。

ガスマーテーの復帰方法

●ガス漏れやガス臭いときは、復帰操作をせずLPガス販売店か緊急時連絡先に連絡してください。

●地震しゃ断表示でない場合は、LPガス販売店の点検を受けてください。



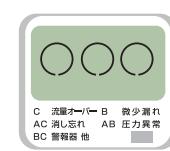
- 器具栓を**すべて閉めて**ください。
- 使っていないガスの元栓
が閉まっていることを確
認してください。



- 左側の復帰ボタンを押
してください。
- 「**ガス止**」の文字が消え
ます。



- 液晶の文字とランプが
点滅します。
- 1分間お待ちください。
※ランプが復帰ボタン部にある
ものもあります。



- 液晶の文字とランプが
消えます。
- 復帰完了です。
- ガスは使えます。

※復帰操作をしても復帰しない場合(再び「ガス止」表示が出る)は、復帰操作を繰り返さずLPガス販売店の点検を受けてください。

停電中の ガス器具使用 のご注意

- 停電中は換気扇などが動かず、CO中毒事故が懸念されます。ガス器具を使用するときは窓を開けるなど換気
に十分ご注意ください。特に小型瞬間湯沸器は燃焼量が大きいため、十分な換気を確保してください。
- また、停電中は照明不足等によりガス器具がよく見えないため、操作には十分ご注意ください。

100Vの電源を使用しているガス器具

給湯器、暖房機器など、100Vの電源を使用している機器は、停電中は使用できません。
ガス給湯器は停電により出湯温度、ふろ温度などが初期設定値に戻ってしまします。停電後、最初にガス給湯器を使用するときは、設定値を確認してください。

ガス給湯器の凍結にご注意

長時間の停電や電気ブレーカーを落とすと給湯器の凍結防止装置(電気ヒーター)が働きません。凍結の恐れがあるときは、給水元栓(水道栓)を閉めて、給湯器の水抜きを行ってください。
水抜きの方法は、給湯器の取扱説明書で確認してください。